

日付	令和6年3月27日(水)
担当課	市民課
電話番号	0742-34-4730

マイナンバーカード普及率 75%超え・窓口不要の行政サービスへ！ 証明書コンビニ交付手数料の1通 10円を継続します

令和5年1月から「証明書コンビニ交付サービス」での証明書交付手数料を「一律 10円」に引き下げておりますが、令和6年度も引き続き「一律 10円」を継続します。マイナンバーカードの普及や窓口の混雑緩和はもとより、利便性を実感いただくことで「行かない窓口」を加速させることを目指し、今後も奈良市はデジタル化を通じて「個々に寄り添う行政サービス」の充実を図っていきます。

トピックス

- ・令和5年1月から運用開始していた「証明書コンビニ交付手数料の1通 10円」について、**令和6年度も継続実施が決定**。混雑の緩和と「行かない窓口」の実現で、市民サービスを向上。**7月以降、本庁舎を含む各出張所に1台ずつ、計5台を追加設置予定**。
- ・端末から5種類の証明書が発行可能。現在、5種類の発行については、**窓口交付とコンビニ交付が約半数ずつ**で、市民の皆様にもコンビニ交付が定着してきている。将来的には**コンビニ交付で8割の交付**を目指す。
- ・**マイナンバーカード保有状況は関西圏の中核市で1位 (75.5%)**。
- ・奈良市では今後もDX化による窓口の利便性向上に取り組む。

この春、お手続きをされる皆さまへ

窓口に来なくてもできる!?

転出届

マイナンバーカードがあれば
来庁不要!



オンライン申請

オンラインでできる申請
増加中!



コンビニ交付

マイナンバーカードがあれば
来庁不要!

戸籍
謄本

住民票
写し



東部出張所に設置されている端末



1. コンビニ交付 10 円の概要について

コンビニに設置された多機能端末による各種証明書の交付（マイナンバーカードの利用）は、平成 31 年 3 月から開始しました。コンビニでの証明書交付手数料の「一律 10 円」については、令和 5 年 1 月から開始。令和 6 年度も引き続き手数料 10 円でのサービス運用を行います。

■減額期間

令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日（予定）

■対象となる証明書

証明書の種類	コンビニ交付手数料	窓口交付手数料
住民票の写し	10 円	300 円
印鑑登録証明書		300 円
戸籍全部（個人）事項証明書 （戸籍謄（抄）本）		450 円
戸籍附票の写し		300 円
課税（非課税）証明書		300 円

■利用に必要なもの

「マイナンバーカード」と「数字 4 桁の暗証番号」（利用者証明用電子証明書の暗証番号）

■その他

- ・全国のコンビニエンスストア（約 55,000 店舗）等に設置された多機能端末から発行可能
- ・コンビニ（セブンイレブン、ファミリーマート、ローソン、ミニストップ）の他、イオン、マックスバリュ、オークワ等の店舗に設置された多機能端末からも取得可能
- ・利用時間はコンビニの場合、午前 6 時半～23 時（ただし年末年始を除く）
- ・コンビニが少ない東部・月ヶ瀬地域には、東部出張所・月ヶ瀬行政センターに端末を設置中
7 月以降、市役所・西部出張所・北部出張所・都祁行政センター・東寺林連絡所にも設置予定

■令和 5 年 4 月～令和 6 年 2 月 窓口とコンビニ交付の件数比較（5 種類の証明書で比較）

窓口での交付件数 **157,627 件**

コンビニ交付全体 **136,652 件**

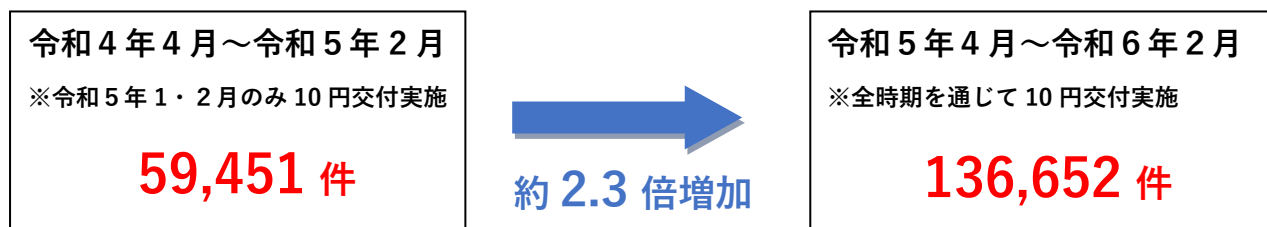


■令和5年4月～令和6年2月 窓口とコンビニ交付の件数比較（各種証明書別）

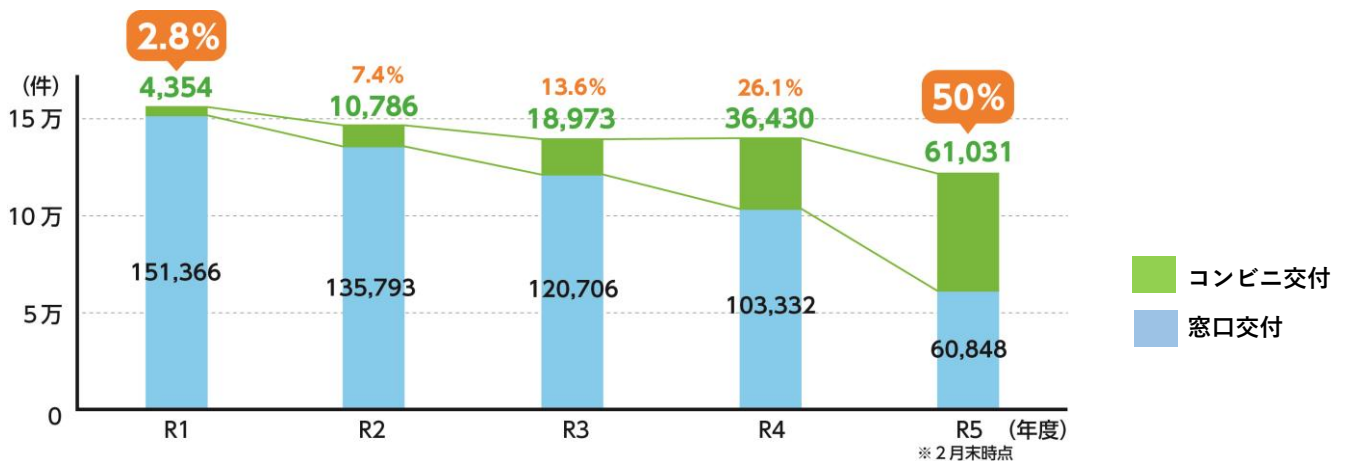
証明書	交付数	窓口交付	コンビニ交付	コンビニ交付割合
戸籍謄本	39,665	24,792	14,873	37.4%
戸籍抄本	8,427	3,672	4,755	56.4%
住民票の写し	121,879	60,848	61,031	50.0%
戸籍附票	7,054	5,035	2,019	28.6%
印鑑登録証明書	85,693	41,466	44,227	51.6%
課税（非課税）証明書	31,561	21,814	9,747	30.8%
合計	294,279	157,627	136,652	46.4%

■コンビニ交付全体（税関連の証明書も含む）の利用状況

令和5年1月から手数料10円での交付を開始しました。当初と比較すると、コンビニ交付の利用が約2.3倍増加していることがわかります。



■「住民票写し」の交付で比較した場合の、コンビニ交付利用割合の推移（過去5年間）



2. 手数料10円導入のメリット

- ・全国のコンビニエンスストア等で夜間、休日でも証明書を取得できる。
- ・窓口の混雑が緩和され、サポートが必要な方に、より丁寧な市民サービスを提供することが可能となる。
- ・窓口に住民票の写しや印鑑証明書等の申請に来られる方が減少し、年度末等の繁忙期においても窓口の混雑の緩和が期待できる。市民の方をお待たせすることなく証明書を発行できる。
- ・DX化による「行かない窓口」を加速させる効果がある。

3. 奈良市におけるマイナンバーカードの交付状況

■交付状況について

コンビニ交付の際にはマイナンバーカードが必要となります。現在、奈良市のマイナンバー保有枚数率は75.5%（令和6年2月末時点）となっています。奈良市では、10円交付やマイナンバーカード出前申請（令和3年4月～令和6年2月で約10,000件の出前申請）等、さまざまな取り組みを進めた結果、関西圏の中核市では最も交付率が高くなっています（全国平均73.3%）。

時期	交付状況
令和6年2月末時点	75.5%
令和5年2月末時点	66.7%
令和4年3月末時点	49.1%
令和3年3月末時点	33.8%

※R5年5月より、総務省の広報データが「交付率」から「保有枚数率」に変更

■マイナンバーカードセンターについて

当センターは令和2年6月12日のオープン以降、約13万件の利用件数がありました。保有枚数率が7割を超え、センターの目的を達成できたことから、令和6年3月15日をもってセンターを閉鎖しました。ショッピング施設の中での運用の結果、多くの方にご利用いただき、カード普及に一定の効果がありました。



（参考）コンビニ交付 利用者の声

■20代男性（市内在住）

本籍地が遠方（大阪府）だったため、戸籍証明書を取りに行くのが難しかったが、奈良市内でのコンビニ交付で戸籍証明書を取得でき、非常に助かった。

■60代女性（市内在住）

普段は住民票を西部出張所で取得しているが、今回手数料10円ということで初めてコンビニで取得した。初めての端末からの取得だったので、うまくできるか不安があったが、簡単で分かりやすく助かった。